

らくらく 楽読 楽書

第33号

平成28年10月発行

所在地：〒619-0285 京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻 70 番地

電話：0774-95-1911 FAX：0774-95-3976

HP：<http://www.town.seika.kyoto.jp/library/>

おすすめ本

精華町立図書館

『こなもん屋うま子』 田中啓文（著）実業之日本社 Fタナ

大阪の路地裏で見つけたつづれかけのあやしいお店、その名も「^{うまこや}馬子屋」。店主は蘇我家^{そがのやうまこ}馬子、店員は少女のイルカだけ。その店には、なぜか悩みを持った人がやって来る。馬子の作る絶品の味に惹かれ常連になり、悩みの答えを見つけていく。その悩みを解決した後は、再び訪れることが出来ない。一見ガサツだけど面倒見が良く、人間観察に優れている馬子とイルカが繰り広げるコメディ要素の強い日常の謎系ミステリーの短編集。読み進めていくと、だんだんお腹が空いてきちゃいます。

馬子、再び現る！！

『こなもん屋うま子 大阪グルメ総選挙』

続編も、ご一緒にいかがでしょうか。大阪再生を目指す市長と共に、いろいろな悩みを一緒に解決していく中で、何故か市長とぶつかり合ってしまうお話です。

『おにぎりにんじゃ』

北村裕花（著）講談社 エホン

おにぎりにんじゃが、のりの衣に身をつつみ、のりまき城にはせさんじる。なんと、大切な巻物を、どんぶり城の殿様にぬすまれてしまったみたい。巻物をとりかえすためにどんぶり城へ。ごましおにぎりの術、おにぎりレーダーピピピ。でも、巻物をとりかえしたとたんつかまってしまいます。

さあ、おにぎりにんじゃは、色々な忍法をくり出し、巻物をとりかえすことができるでしょうか？

『ノラネコぐんだん おすし屋さん』

工藤ノリコ（著）白泉社 エホン

まわるおすしが気になるノラネコぐんだん。おすしを食べようと、なにやらたくらんでいるみたい。

ニヤーニヤー、ドッカーンとたいへんなことをしてかしています。さてさて、ノラネコぐんだん、なにをしたのかな？そして、おすしを食べることができたかな？